

# リアリーターフ®

## 技術資料

目次	
リアリーターフ®概要	..... 1
リアリーターフ®の特徴	..... 2~3
リアリーターフ®施工方法①	..... 4~6
リアリーターフ®施工方法②	..... 7

### ■芝生とは

芝とは、1種類あるいは複数の芝草を人工的に群生させ、刈り込み等の管理を行い、地表面を被覆するような生育を維持させ、ある程度の広がりをもち、運動や休養や鑑賞や保安の目的に利用されるイネ科の多年草です。

芝草が密集して生えて、絨毯(じゅうたん)のように一面に生えている状態を芝生と呼びます。



### ■芝生の管理

芝生の管理には土壌成分、日照時間、水分調節、気温、日陰や水はけを適切に管理調整しなければ、青々とした健康な芝を発育させることは非常に難しい植物なのです。また、発育に伴い雑草の処理や害虫駆除を同時に行なわなければなりません。

芝の管理は非常に難しいため、芝の品種改良や西洋芝を取り入れ管理の掛からない対策を行い、公園、学校校庭、運動場などの公共施設、スポーツスタジアム(野球、サッカー、テニス、ラグビー等)、ゴルフ場、屋上スペース(屋上緑化)一般住宅、集合住宅のお庭などで数多く使用されています。

こうした、対策を行いながら管理していますが、人が多く活用される施設などでは踏圧(とうあつ)による土の締め固まりで、土壌に水と空気が低下し死滅するケースが非常に多く、その踏圧を防止するために芝生保護材を使用しています。

このように、芝生の管理は多くの手間やコストがかかる為、維持管理費の削減とし人工芝化が進んでいます。

### ■リアリティーの高い人工芝

リアリーターフ®は意匠性が高く和風、洋風共に相性が良く現場状況に左右されずご使用いただけます。

他社で販売されている人工芝(色が単色、同じ長さのパイル)と異なり、2種・4色のポリエチレンパイル(ストレートパイル・カーリングパイル)を採用しておりますので、耐候性と柔軟性のある天然芝に近いリアルな質感があります。

パイルにはUV加工を施しているため長期的に景観を維持することが出来ます。

長期的に使用されると、踏圧により、垂直に立ったパイルが縦横無尽に倒れ、写真の高麗芝のような風合いが出ます。



### ■メンテナンス不要

芝は年数回の芝刈りや雑草除去、害虫駆除に肥料散布、また適度な水遣りが必要とされます。また、ペットをお庭で遊ばせ糞尿をした場合、肥料焼けで芝生が枯れかかってしまいます。

リアリーターフ®はそういったメンテナンスが一切必要なく、年間通じて景観の変化がありません。

リアリーターフ®の下地材にグリーンビスタ®砂利下シートを敷くことで、人工芝下からのジョイント部、水抜き穴からの雑草を抑制することが可能です。

### ■抗菌仕様 (パイル25mm、40mm) ※抗菌性試験: JIS-L-1902

黄色ぶどう球菌、MRSA、大腸菌サルモネラ菌にて抗菌試験を行ない、静菌、殺菌が見られ、4種の菌に対して繁殖を抑える効果がありますので、小さなお子様のいるご家庭でも安心してご使用いただけます。

### ■ウレタンバックング (パイル25mm、40mm)

基布にウレタンを採用しており、雨水や湿気による劣化を抑制しますので、長期間でのご使用が可能です。

## ■安全性

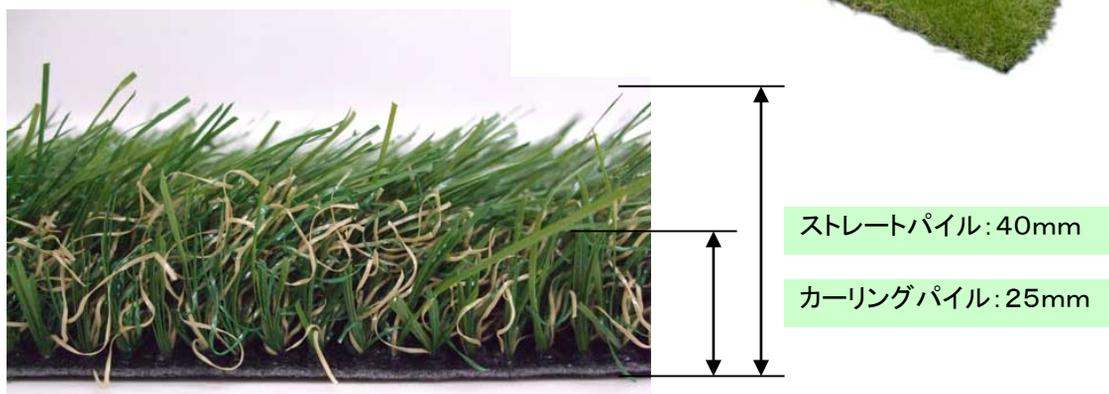
リアリーターフ®はカーリングパイルによりクッション性を高めた製品で、ゴムチップ等を充填する必要はありません。

パイルはポリエチレン製、基盤のシートはポリプロピレン製、バックングはウレタン製と一般的に使用されている素材のみで構成されています。

又、鉛の含有に関するデータは別途ご用命下さい。



リアリーターフ®の断面



## 注意点

- 人工芝の上に落ちたゴミは除去して下さい。枯れ葉、枯れ草などはブロアなどで吹き飛ばし一箇所に集めた後、取除くと簡単です。
- 人工芝のパイルが潰れて気になる場合は、竹ホウキの先(細い枝)を切り詰めブラッシングして下さい。ブラッシングは人工芝に日が当たり暖かい日に行して下さい。熱でパイルが柔らかくなり起きやすくなります。

## リアリーターフ®の施工適用範囲

- 住宅のお庭   ○住宅・マンションのテラスやベランダ・屋上スペース
- 駐車場   ○店舗や施設の室内   ○リゾート施設や学校のプールサイド
- 幼稚園や保育園の運動場   ○中庭 など

※従来芝生を使用していた場所や、日光が入りづらく芝生の生育が難しい場所でもご活用いただけます。



### 【ステップ1：整地・転圧】

防草シートを敷設する前に、地盤の水平・勾配を合わせ不陸のない様に整地を行う。整地後、ランマで2往復程度土を締め固めます。

注：不陸のある場合、人工芝の表面に現れるので確りと調整して下さい。

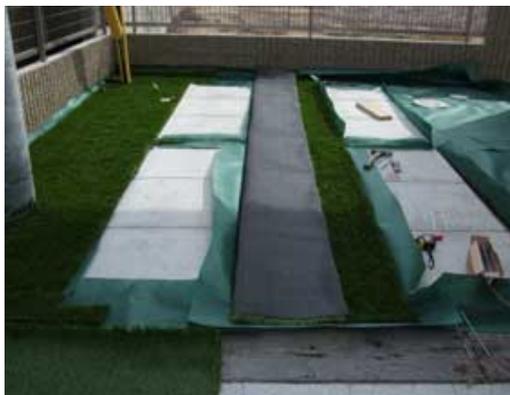


### 【ステップ2：防草シートの敷設】

転圧後、グリーンビスタ®砂利下シートを敷設し、雑草、土の浮き上がり防止として下地処理を行います。

ブラピンを使用し2本/㎡(約1mピッチ)で固定して下さい。

※ブラピンが効かない場合はコ型止めピンをご使用下さい。



### 【ステップ3：割付・敷設】

リアリーターフを基準となるラインに合わせ全面に敷設します。この時、割り付けたリアリーターフ®がズレない様、専用ピンで仮固定して下さい。リアリーターフ®は芝目方向がありますので、割付の際は同じ方向に連結し設置して下さい。



### 【ステップ4：仮固定・接着】

人工芝裏面の端部、ジョイント、シートの真中辺りに専用ボンドを塗布し、人工芝を戻します。

※ボンド塗布時、端部、水抜き穴、ジョイント部分は避けて下さい。(ボンドがはみ出してしまふ為)

塗布後、リアリーターフの端部、中心部を専用ピンで確りと固定して下さい。



## 【ステップ5: 固定】

塗布後、リアリーターフの端部、中心部を専用ピンで固定して下さい。  
ピンを固定する際、ピンの下にパイルを挟まないよう気を付けて固定して下さい。



## 【ステップ6: 清掃・ブラッシング】

専用ピン固定後、リアリーターフ®の端部から出た防草シートをカットし取除いて下さい。カットしたパイル等のゴミを除去し、竹ホウキ等で芝をブラッシングしパイルを立たせてください。作業が終わりましたら、施工完了となります。

### ○施工上の注意点

- ・リアリーターフ®のカットはカッターをお勧めします。ハサミでカットすると表面のパイルをカットしてしまい、仕上がりが悪くなる恐れがあります。又、裏面からカットして下さい。
- ・芝目は正面に向く様、お好みに応じて設置して下さい。
- ・ボンド注入後、人工芝を戻す際パイルがバックングの下に潜り、ボンドが着き易くなりますのでご注意ください。
- ・ボンドを塗布した際、ボンド量が多いと水抜き穴から飛出す恐れがありますので、必ず目串やヘラ等で均してください。
- ・ピン固定する際、パイルをピンで押さえつけない様、気を付けて下さい。押さえつけた場合、ピンが目立ち景観が悪くなります。
- ・パイルの縫い目の通りを必ず合せて設置、固定して下さい。
- ・タテ目のジョイントは10mm以内に設置し固定して下さい。
- ・ヨコ目のジョイントは必ず隙間が空かないよう、突きつけて固定して下さい。  
(タテ目のパイル間隔は密なため、空いてしまうとジョイント部が分かりやすくなります)

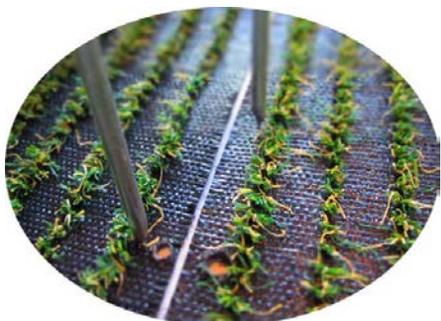
※リアリーターフ®の固定は、次のページをご参照下さい。

### ○リアリーターフ®の補修

リアリーターフ®を部分的に補修される場合は、不具合の生じた部分を大きめに角型にカットして取除き、同じ大きさの新しいリアリーターフ®を芝目に合わせ、専用ピンで固定して下さい。

注:リアリーターフ®の上でバーベキュー、花火等はやめて下さい。

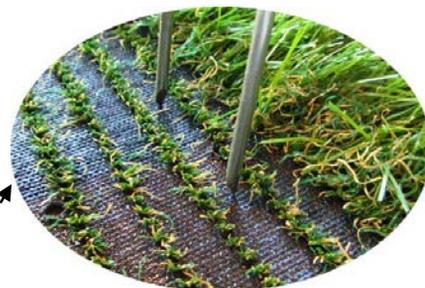
# ジョイント施工方法



## 【タテ目ジョイント方法】

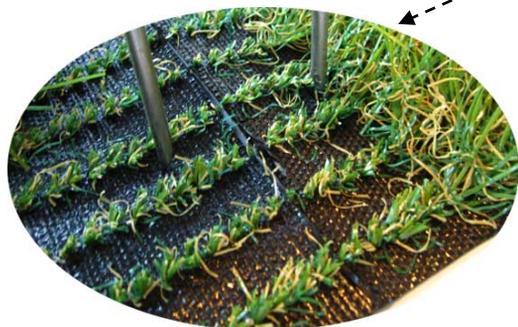
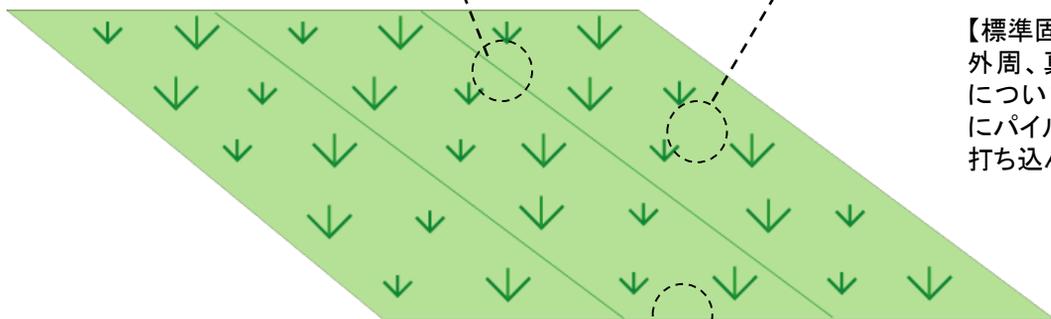
1m幅を2m、3m幅と連結していく場合のジョイント固定場所です。

基盤と基盤を付き合わせ、両方の基盤を専用ピンで固定します。二又のピンのそれぞれを右の基盤、左の基盤を固定します。



## 【標準固定方法】

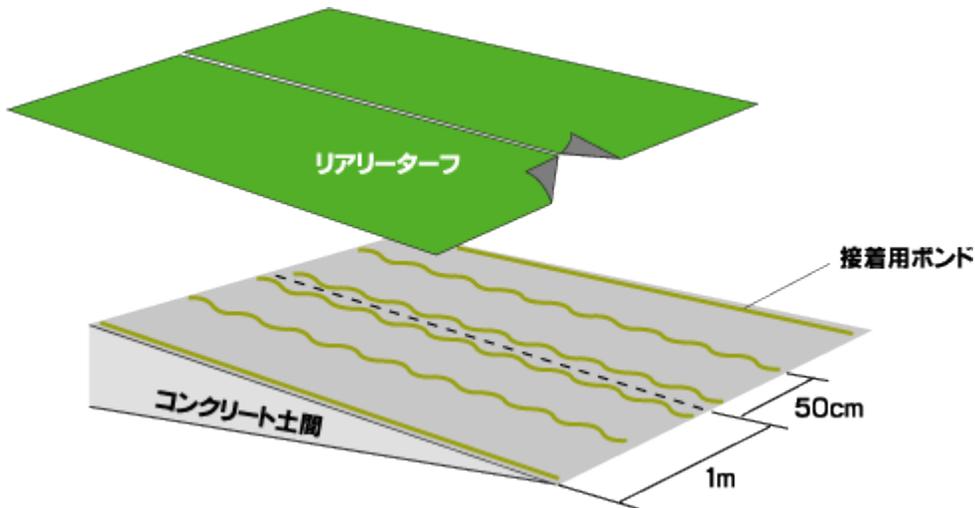
外周、真中部の固定場所については、左写真の様にパイルとパイルの隙間に打ち込んでください。



## 【タテ目連結固定方法】

リアリーターフ®の長さ連結方法は写真の様に平行に縫われているパイルの通りを合わせて設置して下さい。パイルの通りを合わせたリアリーターフ®を標準固定方法同様、パイルとパイルの間に専用ピンを打ち込み固定して下さい。

タテ目を連結する場合は、隙間が開かないよう固定して下さい。



### 【ステップ1:コンクリート土間の清掃】

土間接着する前に、コンクリート面のゴミを取除き清掃を行います。

### 【ステップ2:リアリーターフの割付】

ボンド接着を行う前に、リアリーターフの割付を行います。なるべく、人工芝の芝目を考慮した上でロスの少ないよう割り付けて下さい。

### 【ステップ3:ボンド接着】

リアリーターフの割付後、仮置き状態でリアリーターフ®を捲りボンドを注入していきます。ボンド接着は、リアリーターフの外周、中心部ジョイントにボンドを塗布していきます。外周は直線で塗布し、中心部やジョイント部は塗り幅5cm幅程度に、波上に塗布して下さい。

### 【ステップ4:養生】

ボンド塗布後、仮固定(重し)を行いボンドが固まるまで養生を行って下さい。施工時期によりボンドの硬化時間が異なりますので、随時硬化状況を確認して下さい。

### 【ステップ5:清掃】

ボンド固定完了後、リアリーターフの上のゴミを取除きブラッシングを行い施工完了となります。

#### ○施工上の注意点

- ・カットや接続方法は、土施工同様の項目を注意し施工して下さい
- ・両面テープ施工を行なう場合もボンド施工同様の施工工程となります。
- ・ボンドの効果時間は夏場1日、春、秋、冬場は1～2程度養生が必要となります。
- ・ボンドを塗布した際、ボンド量が多いと水抜き穴から飛出す恐れがありますので、必ず目串やヘラ等で均してください。

#### ○リアリーターフ®の補修

リアリーターフ®を部分的に補修される場合は、不具合の生じた部分を大きめに角型にカットして取除き、同じ大きさの新しいリアリーターフ®を芝目に合わせ、専用ボンドで接着して下さい。

注:リアリーターフ®の上でバーベキュー、花火等はやめて下さい。